

# コンパクトなまちづくりを考える シンポジウム

～次世代にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けて～

令和6年度に開催し、都市の「体質改善」としてのコンパクト・プラス・ネットワーク施策について議論し、大きな反響をいただきました「コンパクトなまちづくりを考えるシンポジウム～次世代にも暮らしやすいまちづくりとは？～」。

令和7年度は内容をさらに深化させ、コンパクト・プラス・ネットワーク施策の効果や都市の質や価値の向上にも着目し、「次世代にも暮らしやすいまちづくり」の実現に向けて取り組むべき施策について考えます。

令和7年

10月2日(木)

18:00～19:40(17:40開場)

煥乎堂5階ホール

前橋市本町1-2-13

## 第1部 基調講演 18:05～18:45

次世代へ引き継ぐ個性豊かな質の高いまちの実現に向けて

《講演者》野澤千絵(明治大学政治経済学部教授)

## 第2部 話題提供 18:45～19:00

生活リスクに備えたコンパクトシティ施策の実践

《講演者》松川寿也(長岡技術科学大学准教授)

## 第3部 パネルディスカッション 19:00～19:40

前橋市の土地利用のあり方と取り組むべき施策

《コーディネーター》

眞庭宣幸(群馬県住宅供給公社 理事長)

《パネリスト》予定/順不同

野澤千絵(明治大学政治経済学部 教授)

松川寿也(長岡技術科学大学 准教授)

矢端晴美(有限会社 ヤバタファーム)

杉原菜々(群馬高専環境都市工学科 4年)

小川あきら(前橋市長)

申込はこちら

締切:9月30日(火)



参加無料

定員163名

問い合わせ先

前橋市都市計画課

土地利用係

tel: 027-898-6943

mail: toshikeikaku@

city.maebashi.gunma.jp

## 明治大学政治経済学部 教授 野澤 千絵 氏

## テーマ：次世代へ引き継ぐ個性豊かな質の高いまちの実現に向けて

人口減少が本格化する中で次世代へ引き継いでいくべきまちづくりには、コンパクト・プラス・ネットワークの推進と同時に、個性あるまちなかづくりを通じた更なるまちの魅力の向上や、多様な人的交流の場を生かした「前橋らしい」イノベーションの促進を目指すことも求められます。

本講演ではこうした「都市の個性」や「質や価値」にも着目し、「次世代にも暮らしやすいまちづくり」の実現に向けて目指すべき方向性や取り組むべき施策を紹介します。

野澤 千絵 (のざわ ちえ)  
略 歴

明治大学政治経済学部教授。  
専門は都市政策・住宅政策。博士(工学)。  
大阪大学大学院修了後、民間企業を経て、東京大学大学院修了。東洋大学理工学部建築学科教授等を経て、2020年度より現職。  
2025年現在、(公社)都市計画協会理事、国土交通省の社会資本整備審議会・交通政策審議会の本委員、上下水道政策の基本的なあり方検討会委員、大田区空家等対策協議会会長。また、国土交通省の「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」の座長として、これからの都市再生のあり方について議論し、2025年5月に中間とりまとめが公表。群馬県については、以前、地域公共交通計画策定アドバイザーや都市計画区域マスタープランにおける土地利用方針検討会などの委員に従事。  
主な著書は、『2030-2040年日本の土地と住宅』（中公新書ラクレ）、『老いる家 崩れる街—住宅過剰社会の末路』『老いた家 衰えぬ街—住まいを終活する』（いずれも講談社現代新書）など。

## 長岡技術科学大学 准教授 松川 寿也 氏

## テーマ：生活リスクに備えたコンパクトシティ施策の実践

松川 寿也 (まつかわ としや)  
略 歴

長岡技術科学大学准教授。  
専門は土地利用計画。博士(工学)。  
新潟県生まれ 現職のほか新潟県都市計画審議会委員、新潟県にぎわいのあるまちづくり審議会委員、信濃川水系流域委員会中流部委員など  
著書に「水害多発時代の流域治水(第一法規)」、「都市縮小時代の土地利用計画(学芸出版社)」など

